

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都丸2ホテル新築工事設計図	階数	地上7F、地下1F
建設地	京都府京都市中京区丸太町上少将井町225-227	構造	RC造
用途地域	市街化区域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年7月31日
敷地面積	547.23 m ²	作成者	野原義久
建築面積	436.18 m ²	確認日	2019年8月1日
延床面積	3,256.23 m ²	確認者	奈良田隆



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。また、主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数長い材料を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	断熱性が高い材料を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率72%
Q2 サービス性能	主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数長い材料を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される